



古河市合併10周年



こ  
古

が  
河

広  
報

No.125

2

FEBRUARY  
2016



平成28年古河市成人式典

# 20歳の誓い

## The Oath of the 20-year-old

平成28年古河市成人式典が1月10日、古河はなもも体育館(中央運動公園総合体育館)で開催されました。今年の新成人は、平成7年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた人。市内在住の1,471人が大人への一步を踏み出しました。

色鮮やかな振り袖や羽織袴、スーツ姿の新成人が再会を喜び合う声が飛び交い、会場は華やかな雰囲気<sup>わたりかま</sup>に包まれました。式典では、菅谷市長の祝辞、古河<sup>わたいて</sup>和太鼓保存会による太鼓の演奏、恩師からのメッセージなどで新成人を祝福。

また、古河市出身のお笑い芸人・綾部祐二さん(ピース)によるサプライズメッセージが上映されると、会場から大きな歓声<sup>わ</sup>が沸き起こりました。

綾部祐二さんから  
お祝いメッセージ



▲成人式実行委員が綾部さんへお祝いメッセージを依頼しました

**【メッセージ】** 成人式を迎えた1,471人の皆さん、おめでとうございます。18年前、大雪の成人式を思い出します。芸人になろうと20歳で上京。あこがれだった芸能界で頑張っています。20歳を迎え、まずは親に感謝しなければなりません。皆さん、夢に向かって頑張ってください。



- ①菅谷市長から新成人へエール
- ②新たな一步を踏み出した新成人
- ③懐かしい恩師のメッセージ上映に歓声を上げる新成人
- ④実行委員長の関真理菜さんが新成人を代表しあいさつ
- ⑤古河和太鼓保存会のお祝いの演奏に、新成人も参加。会場を盛り上げました

## 新成人を代表して「20歳の主張」を述べました



みつはしけんご  
三橋賢悟さん  
(小堤)

### 感謝の心を持って

私は先日無事に20歳を迎えることができました。数えきれないほどのやんちゃを繰り返してきましたが、そんな私も高校を無事卒業し、現在は地元の企業で仕事をしています。

会社の雰囲気や作業にも慣れ、今ではすっかり馴染んでいます。正直最初は大変でした。父と同年輩の上司から、大卒の同期もいます。そのため、一日でも早く認めてもらえるよう必死で頑張りました。勤め始めて間もなく、年配の上司と食事していると「若いのに仕事ができる」と褒めてもらえたときはめっちゃ嬉しかったのを覚えています。

両親にも今までかなりの迷惑をかけてしまいました。これからも迷惑をかけてしまうことをお許しください。20歳の区切りとしてお礼を一言。「ありがとう、大好きです」。

※一部要約しています。



なるみしげき  
鳴海成樹さん  
(大山)

### ふるさと古河を胸に

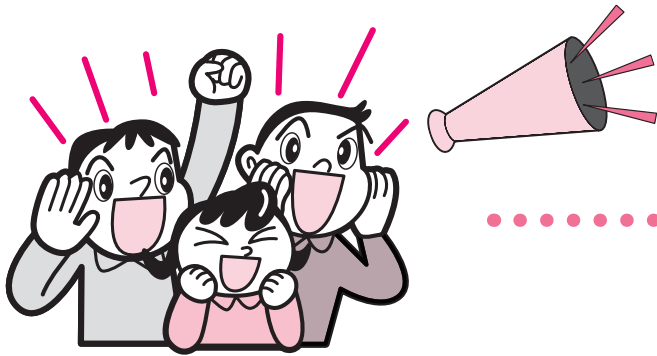
私はこの20年間、多くの人たちに支えられて生きてきました。ここまで育ててくれた両親、喜びや悲しみを共に分かち合った友人、学ぶことの楽しさを教えてくれた先生、そして、いつも温かく見守ってくれた地域の方々。今、感謝の気持ちでいっぱいです。

私はいつもマイペースで、何かあるたびに周りの方々に助けられました。特に、両親には、生活面や進路でたびたび迷惑をかけてしまったので、今後は私が家族を支えられるよう頑張ります。

私は今年3月に専門学校を卒業し、4月から社会人としての生活が始まります。常に社会人としての自覚を持ち、誰からも慕われるような人間になることを目指したいです。

ここにいる全員がこのふるさと古河で得たもの、学んだことを生かして、この先、より良い人生を歩めるよう祈りつつ、20歳の誓いといたします。

※一部要約しています。



# 子ども会に入ろう！

子ども会は、自治会、行政区および町内会などを単位に、さまざまな年齢の子どもたちで構成された組織です。また、市内子ども会の連合組織として「古河市子ども会育成連合会（市子連）」が組織されており、子ども会の情報交換や学区を越えた子どもたちの交流を図る事業を行っています。

ぜひ、子ども会に入ってたくさんの仲間と楽しい思い出をつくりましょう。

【問】古河市子ども会育成連合会事務局(生涯学習課内) ☎22-5111

## 子ども会の魅力って何？

### 遊 びを通して 学ぶ・育つ！

子どもは「遊び」を通じて成長します。それも仲間でルールを作るなど、自分たちで創る「遊び」です。

子ども同士のふれあいの中で、ルールを守ることの大切さや相手を尊重する心が育まれます。

### 楽 しいイベントが たくさん！

夏に1泊2日で行う宿泊交流会、ドッジボールの最強チームを競う球技大会、関東の奇祭・古河提灯竿もみまつりへの参加、手作りのたこあげ大会など、一生の思い出になる楽しいイベントがたくさんあります。

### 異 年齢集団で 自主・自立！

子ども会には、幼児から高校生まで幅広い年齢層の子どもたちがいます。高学年の子どもがお兄さん・お姉さんとなって、低学年の子どもたちと遊びを通じて交流を深めます。交流を通して、社会生活を営むために必要な自主性や思いやりの心、リーダーシップを養い育てていきます。

### 子 育ての悩みを みんなで解決！

子ども会は、子どもたちだけではなく保護者の交流の場にもなっています。子ども会の活動を通じて、地域や教育関係者と顔見知りになることで、子育ての悩みを共有・解決することができます。

## 市子連の活動を紹介します

### 宿泊交流会

6月27日・28日、茨城県立さしま少年自然の家で宿泊交流会を行いました。

ダンスコンテストを行ったり、カレーを作ったりして、楽しい2日間となりました。とてもよい思い出になり、次回の宿泊交流会が楽しみです。



▲ダンスコンテストは、子どもだけでなく、大人も大盛り上がりでした



▲暑いけど頑張って準備したよ



▲自分たちで作ったカレーは、本当においしい！

### 古河提灯竿もみまつり

12月5日、JR古河駅西口おまつり特設会場で開催された古河提灯竿もみまつりに参加しました。

パレードに続いて、日暮れからはいよいよ竿もみ開始。熱い戦いを楽しみながら、今回で155回目を迎えた古河の伝統行事を体験しました。



▲終わった後は、おいしい味噌おでん



▲かわいらしい手作りの提灯がたくさん

人と食と農

農業委員会

農業委員会では、農地の違反転用や耕作放棄地の発生防止・解消に取り組むため、農地パトロールを実施しています。地域の優良な農地を守り、大切な資源を次世代に残していくため「農地の番人」として活動しています。

【問】農業委員会事務局(三和庁舎)

☎76-1511

を守る



■農地の貸し借りをしませんか

農業経営者の減少や高齢化に伴い、市内には耕作されていない荒廃農地が多く見受けられます。まわりの農地への害虫被害の防止にもつながりますので、農地の貸し借りを考えてみませんか。



農地パトロールを行いました

昨年11月25日・26日に農地パトロールを行いました。

農地パトロールは、農地法第30条により年1回農地の利用状況について調査を行うものです。今回は、一時転用許可による農地改良工事、無許可で行った農地法違反転用農地、荒廃農地の広がっている地域を重点に行いました。

農地に建設残土を搬入して農地改良を行う場合は、農地法第5条による許可が必要です。農地の埋め立て工事を見かけた場合は、地域の農業委員にお知らせください。



▲厳しい寒さの中で各地をパトロールしました

女性農業委員としての思い



古河市農業委員会委員 落合美代子さん(高野)

昨年10月8日、栃木県宇都宮市で開催された「関東ブロック女性農業委員研修会」に参加しました。「活力ある農業委員会について～女性農業委員への期待～」と題して福島大学教授・岩崎由美子先生の講演がありました。

内容は、男女共同参画の意義や農業委員会への女性参画の必要性というものです。女性農業者ならではの感覚で、地域の抱える課題を解決することが多くの問題に直面している

## 農業委員レポート

### 豪雨により農業に甚大な被害が発生

昨年9月の関東・東北豪雨により、常総市では堤防が決壊するなど甚大な被害が発生しました。古河市でも、西仁連川と宮戸川が決壊し、大きな被害を受けました。

南総土地改良区では、西仁連川が決壊により流出した土砂は約3haにおよび、200haの水田が冠水しました。収穫前の水稻は、2～4日間冠水したため、食用には適しません。共済組合の調査では、収穫が全くなかった水田もありました。被害額は約2億4,900万円にものぼります。

西仁連川の堤防の仮復旧工事は、順調に進んでいます。水田の復元のために流出した土砂や堆積物の撤去は、農家だけの力では困難であり、国や県の協力と援助が必要です。

まず、飯沼川の復旧工事を行い、排水路を確保し、その後水田に流出した土砂の撤去が進められます。農地の有効利用を促進する農業委員会も農地の完全な復活を望んでいます。



▲西仁連川の堤防の仮復旧作業は順調に進んでいます(平成27年10月下旬撮影)



▲飯沼川は流出した土砂が堆積しました(平成27年10月下旬撮影)

地域づくりに不可決であること。また、女性の視点で若手女性農業者や後継者のニーズを把握し、支援することが次世代の育成につながるのお話でした。

農業だけでなく、地域の暮らしのために女性の「方針決定の場への参画」が必要であり、男性と女性の両方の力を合わせれば多くの可能性が広がります。

生産者であり消費者でもある女性農業者として、地域を一番知っており、地域に根ざし

て暮らす女性たちの声をもとに地域課題の解消へとつなげ、暮らしやすい地域づくりに貢献することも女性農業委員の役目なのだと感じました。

改正農業委員会法施行後の女性農業委員の登用は今後の私たち女性農業委員の活躍にかかってくるでしょう。生産者として、女性農業委員として「農地」と「人」、そして「食」を守り育てる活動をしていきたいと思っています。

# 人事行政の運営等の状況を公表します



市は、人事行政の公平性と透明性を高めるため「古河市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」を制定しています。この条例に基づき、職員の給与や定員管理の状況などを公表します。  
【問】職員課(総和庁舎) ☎92-3111

## 1. 職員の任免および職員数に関する状況

### (1) 平成27年度の職員採用状況

職 種	採用人数(人)
一般事務	18
日本語指導員	2
理学療法士	1
作業療法士	1
社会福祉士	1
計	23

※任期付職員5人を含む。

### (2) 部門別職員数の状況

(各年4月1日現在)

部 門	職員数(人)		増減数(人)	
	平成26年	平成27年		
一般行政部門	議会	7	7	0
	総務	203	206	3
	税務	64	64	0
	民生	161	162	1
	衛生	59	54	-5
	労働	0	0	0
	農林水産	27	25	-2
	商工	22	24	2
	土木	111	111	0
	小計	654	653	-1
特別行政部門	教育	115	106	-9
	小計	115	106	-9
普通会計	計	769	759	-10
公営企業会計部門等	水道	22	20	-2
	下水道	34	33	-1
	その他	58	56	-2
	小計	114	109	-5
合計	883	868	-15	

### (3) 年齢別職員構成の状況

(平成27年4月1日現在)

年齢区分	人数(人)
20歳未満	0
20歳～23歳	15
24歳～27歳	82
28歳～31歳	84
32歳～35歳	54
36歳～39歳	72
40歳～43歳	141
44歳～47歳	152
48歳～51歳	83
52歳～55歳	72
56歳～59歳	92
60歳以上	21
計	868

## 2. 職員の給与の状況

### (1) 職員の平均年齢、平均給料月額等の状況

(平成27年4月1日現在)

古河市	平均年齢	平均給料月額(※1)	平均給与月額(※2)
一般行政職	42歳7カ月	315,700円	395,100円
技能労務職	53歳4カ月	299,200円	331,600円
茨城県	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	42歳8カ月	336,202円	416,163円
技能労務職	52歳7カ月	342,651円	390,770円

※1：平均給料月額は、職員の基本給の平均です。

※2：平均給与月額は、給料月額と月々支給される地域手当・扶養手当・住居手当・通勤手当・時間外勤務手当などの諸手当を合計したものです。



## (2) 職員の初任給の状況

(平成27年4月1日現在)

区分		古河市	茨城県
一般行政職	大学卒	174,200円	177,600円
	高校卒	142,100円	144,300円
技能労務職	高校卒	139,500円	141,900円

## (3) 職員の期末・勤勉手当の状況

(平成27年4月1日現在)

	古河市		茨城県	
	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
6月期	1.225月分	0.750月分	1.225月分	0.750月分
12月期	1.375月分	0.750月分	1.375月分	0.750月分
計	2.6月分	1.5月分	2.6月分	1.5月分

## (4) 級別の標準的な職務内容

(平成27年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級
行政職	主事 技師 主事補 技師補	主事 技師	主幹	係長	課長補佐	課長 副参事	参事	部長 理事

※1級：定型的な業務を行う主事、技師 ※2級：高度の知識または経験を必要とする業務を行う主事、技師

## (5) 一般行政職の級別職員数の状況

(平成27年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	計
職員数	109人	61人	157人	164人	81人	52人	17人	14人	655人
構成比	16.7%	9.3%	24.0%	25.0%	12.4%	7.9%	2.6%	2.1%	100%

## (6) 特別職の報酬等の状況

(平成27年4月1日現在)

区分		給料月額等
給料	市長	970,000円
	副市長	770,000円
	教育長	670,000円
報酬	議長	500,000円
	副議長	450,000円
	議員	400,000円
区分		支給割合
期末手当	市長	平成27年度 6月期：1.475月分 12月期：1.625月分 計：3.10月分
	副市長	
	教育長	
	議長	
	副議長	
	議員	

## 3. 職員の福利厚生制度の概要

●職員の福利厚生については、地方公務員法第42条に基づいて定められた地方公務員等共済組合法により、茨城県市町村職員共済組合が運営主体となっている共済制度があります。共済組合では、組合員である職員とその被扶養者の病気やケガ・出産・死亡等に対して必要な給付を行う「短期給付事業」、職員の退職・障害・死亡に対して年金または一時金の給付を行う「長期給付事業」、健康の保持増進や住宅資金の貸し付けなどの「福祉事業」を行っています。

●互助会組織として「古河市職員互助会」を組織し、会員は全職員で877人(平成27年4月1日現在。特別職を含む)となっています。相互扶助および福利厚生を目的に、人間ドック助成や市主催のまつり等の行事にも参加し、市民の皆さんとの交流を図っています。

## 新春のつどいを開催

～さらなる飛躍を願って～



▲「新春のつどい」  
新年の抱負を語り合った

新年を祝う「まぐらがの古河 合併10周年記念新春のつどい」が1月13日、とねミドリ館(生涯学習センター総和)で開催されました。議員、各種機関・団体の役員など約540人が出席。菅谷市長による年頭のあいさつの後、市政の発展に功績のあった功労者19人の表彰を行いました。また、市の公益のために金品などを寄付された8人へ感謝状を贈呈しました。

その後、市長と来賓が新しい年の始まりを祝って鏡開きを行い、全員で乾杯。会場内では、参加者が和やかに歓談する様子がみられました。

### 市政功労者 (順不同・敬称略)

#### ●自治功労

佐藤 稔(諸川)	多年市議会議員
高橋 秀彰(平和町)	同上
中山 一郎(恩名)	多年農業委員会委員
鈴木 國雄(静町)	多年自治会長
金谷 孝夫(女沼)	多年消防団本部長
高木和 宏(宮前町)	多年消防団員
藤井 敏信(東京都)	多年建築審査会委員
小野寺 信次(本町)	同上
佐谷 道浩(東本町)	多年情報審査会委員

#### ●教育功労

小柳 隆二(東本町)	多年学校歯科医
黒沢 豊(古河)	多年スポーツ推進委員
関 保(東)	多年青少年相談員

#### ●福祉功労

綾部 英雄(小堤)	多年保護司
大堀 久雄(古河)	多年介護認定審査会委員
小犬丸 雅春(新久田)	同上
上野 晃(埼玉県)	同上
長濱 忍(下辺見)	多年ボランティア協会役員

#### ●保健衛生功労

木村 洋子(東)	多年健康づくり協力員
古橋 繁子(南町)	同上

## 安倍首相を訪問

### 関東・東北豪雨被害へのさらなる支援を要望しました

昨年9月の関東・東北豪雨で被害のあった常総市をはじめ、利根川・鬼怒川・小貝川沿川の県内8市2町の首長と議会議長が、12月7日に首相官邸を訪問しました。

古河市からは菅谷憲一郎市長と佐藤泉議長が訪問。官邸で安倍首相と面会し、災害に対する国の迅速な対応に謝意を表しました。

また、災害復旧に対するさらなる財政支援、被災農業者・被災商工業者への十分な支援、大雨による大規模災害に備えた堤防の強化の推進などを書面で要望しました。



▲安倍首相を訪問し、災害復旧対応への感謝とさらなる支援を求めました(12月7日、首相官邸)



## 表彰 アジア選手権で準優勝

サッカー女子16歳以下の日本代表メンバーで総和南中学校3年生の三浦晴香さんが、12月10日に菅谷市長を表敬訪問しました。

三浦さんは11月に中国で行われた「AFC U-16女子選手権中国2015」に出場し、持ち前のスピードと正確なクロスボールを武器に活躍。日本の準優勝に貢献し、今年10月にヨルダンで行われるFIFA U-17女子ワールドカップの出場権を獲得しました。世界へ、若い力が羽ばたきます。



◀アジア選手権準優勝を報告した三浦晴香さん(写真真右)



▲今後ますますの活躍が期待されます(写真中央が石川哲也監督)



## 「古河ますらお」監督へ感謝状を贈呈

12月24日、「古河ますらお」を率いる石川哲也監督へ、佐川教育長から感謝状が贈られました。

「古河ますらお」は、11月28日・29日に東京都で行われた「第31回関東小学生バレーボール大会」で優勝に輝きました。また、8月に出場した「第35回全日本バレーボール小学生大会」でも準優勝を果たしており、石川さんは、長年地域スポーツの普及発展に努めた功績やその指導力が認められました。

## 全国大会出場

### 【第25回日本クラシック音楽コンクール全国大会】

○高校生ピアノ部門：若井由梨さん(武蔵野音楽大学附属高等学校)

### 【第77回全日本ベテランテニス選手権'15】

○男子40歳以上シングルス：関宏隆さん(古河市テニス協会)

### 【第70回東日本ソフトテニス選手権大会】

○一般男子：山田祐樹さん、服部滋さん、岡安守彦さん、友野恵介さん、清水大輔さん、清水陽司さん、田内大貴さん(古河クラブ)

○成年男子：渡邊道晴さん、木崎雅久さん(古河クラブ)

○一般女子：伊藤由香さん、斉藤梢さん、箕輪あゆみさん(古河クラブ)



○シニア女子45：佐藤由美子さん、小藏好恵さん、塚原菜穂子さん(三和クラブ)

○シニア女子55：山中敬子さん(三和クラブ)

○シニア女子65：松本笑子さん(古河クラブ)

○シニア女子70：津久井久子さん(古河クラブ)

### 【第28回全国グラウンド・ゴルフ交歓山形県大会】

鈴木マサ子さん、関茂さん、齊藤トシ子さん、深谷好美さん(古河グラウンド・ゴルフ協会)

### 【第70回国民体育大会】

○茨城県代表：川上幸男さん、鈴木マサ子さん(古河グラウンド・ゴルフ協会)

### 【日本スポーツマスターズ2015空手道競技大会】

箕輪俊明さん(国際剛柔公道会茨城)

注目!

# まちの話題

古河市民芸術鑑賞の集い  
こころの詩〜野口雨情物語〜

12月13日、ユースセンター総和で舞台「こころの詩〜野口雨情物語〜」が上演されました。出演は古河市出身の俳優・井上高志さんと、地元を中心に活動する「劇団まくらが」。鷹見泉石のひ孫で絵本作家の鷹見久太郎と親交の深かった詩人・野口雨情の半生や、彼を献身的に支える家族の人間模様を描いた内容で、俳優生活40周年を迎えた井上さんが自ら演出を手がけました。

昼の部・夜の部ともに会場は満員。約500人が、笑いあり涙ありの人生に思いをはせながら、舞台に見入っていました。



▲野口雨情役の井上さん(中央手前)と「劇団まくらが」の皆さん。人情味ある心温まる舞台を演じました

## 議場で初コンサート 澄んだ音色が議場に響き渡る



▲市民が議場に気軽に足を運び、議会に関心を持ってもらう機会となる「議場コンサート」

12月14日、古河市議会議場で「議場コンサート」が開かれました。市民に身近で開かれた市議会を目指し企画されたもので、12月定例会が初めての開催となりました。

当日は一般質問開始前の午前9時から、市内を拠点に活動する「二胡クラブ 茉莉花」と「ゆるリコ ファミリーオ」が演奏。通常は議員の論戦の場が、音楽の演奏会場に様変わり。二胡とリコーダーの優しい音色に、市民や議員、市執行部など約80人が酔いしれました。次回、3月定例会も開催予定です。

## 7,000歩で歩ける 新春の七福神めぐり



▲新たな一年の幸福をそれぞれが願いました

1月10日、「第10回古河七福神めぐり」が行われました。これは、年の初めに市内の七福神を祀る寺院や神社10カ所を巡拝しながら城下町古河の風情を楽しむものです。

4.5キロメートルという気軽に歩ける距離と古河駅西口が出発地ということもあり、市外からもたくさんの方が参加しました。新春の穏やかな日差しの中、参加者は各所でつきたての餅や甘酒などのふるまいを受けながら、それぞれのペースでゆっくり散策し、七福神めぐりを楽しみました。

みんなで異文化交流  
ウインターフェスティバル2015



▲日本を含む世界14カ国から参加。各国の華やかな民族衣装が会場を彩りました

12月13日、とねミドリ館(生涯学習センター 総和)で「ウインターフェスティバル2015」が開催され約600人が来場しました。

会場には、折り紙や茶道、琴など日本文化の紹介のほか、各国の民芸品などを紹介するコーナーなどがあり国際色豊か。ステージでは外国人のスピーチや各国の民族衣装の紹介や舞踊が披露され、大いに盛り上がりました。最後はみんなで輪になり笑顔で日本民謡を踊るなど、言語や国籍を越えた楽しい時間を過ごして交流を深めました。

子育てのバトンをつなぐ  
「りさ育て」引き渡し会



▲ベビーカーやベッドなどさまざまな子育て用品が出品され、人気の品物は抽選になりました

12月18日、まちなか再生市民広場(古河駅西口)で「りさ育て」引き渡し会が行われました。

この催しは、成長に伴い不用となった子育て用品を、必要としている人に市を通して無償で譲ることで、子育て世代の経済的負担の軽減や資源の有効活用を図るものです。

参加した人は「子ども用品は短い期間しか使わないのでこういう機会ありがたいです。次回開催が楽しみ」と話し、すぐに必要な品物を選んでいました。

県西の魅力を集約した観光ガイドブック  
『イバラキ県西自慢』を発行

12月、県西地域10市町の観光情報などを掲載したガイドブック『イバラキ県西自慢』が県西地域総合振興協議会から発行されました。

この冊子は、宝くじの助成金と漫遊いばらき観光キャンペーン推進協議会の助成金を活用して作られました。古河市を含む各市町の紹介をはじめ、特産品やご当地グルメ、ぶらりと寄ってみたいくなるカフェやお店がたくさん詰まった一冊となっています。

配布場所は市内の道の駅や一部店舗、古河歴史博物館など一部の公共施設。詳細はイバラキジマンのポータルサイトへ。パソコン(PC) <http://ibarakiziman.jp> またはスマートフォン(SM) <http://www.ibarakiziman.jp/catapoke/> で見るができます。

意外と知らない県西のジマンを探しに、ちょっとお出かけしてみませんか。



▲県西地域の魅力たっぷりのガイドブックです



▲自分のお気に入りを見つけてみてはいかがでしょうか

# キラッ! 輝く人だち

## 「すべての人馬に感謝でいっぱい」

たがみ ゆか  
田神 優香さん（17歳・東）

昨年7月、全日本高等学校馬術競技大会(インターハイ)において団体戦で優勝し、今年度、高校馬術海外留学の全日本代表選手に選出された田神優香さん。1月5日から11日までオーストラリアの馬術強化合宿に参加しました。

「馬を通してたくさんの人との出会いがあった」という優香さんに、馬術を通して学んだことなどをお聞きしました。



### ポニー牧場は自分の原点

現在、県立水戸農業高等学校の2年生。「乗馬がやりたい」と高校入学時から実家を離れ、寮生活を送っています。

高校の敷地面積は東京ドーム10個分といわれていて、校舎から馬場まで自転車で移動しなくてはならないほど広大な敷地。「畜産科なので、家畜の出産から出荷までの流れや、研究・実習をたくさん体験できます。すべてが貴重な経験」と充実した高校生活を話してくれました。

乗馬との出会いは、小学3年生のときに入会したネーブルパークの「ポニークラブ」。そこで、乗馬や馬のお世話、厩舎の掃除、ボランティア活動などを体験しました。「もともと動物好きだった私に、両親が勧めてくれました。でも、最初は馬が怖くて、半年で辞めようと思っていたんです」という意外な言葉。でも、途中で辞めたくないという負けず嫌いな性格と、周りの人たちに助けられ徐々に馬にのめり込むようになったといいます。



◀日々、馬との信頼関係を築いて、お互いのレベルを向上させていきます

### 馬とともに力強く障害を飛び越える

馬術は、馬に騎乗して運動の正確さや美しさなどを競うスポーツ。インターハイでは、馬場内に設置された障害コースを規定時間内で走行し、走行タイムと減点方式で順位を競う「障害飛越競技」で団体優勝しました。

馬術は男女別なく行われる競技。優香さんは3年生の男の先輩2人とチームを組み出場。前年も同じチームで挑戦しましたが好成績を残せず、「最後のチャンス。ここで勝たなくてはと思っています」と小柄な身体で必死に耐えた重圧の大きさを話してくれました。

「馬術は決して一人でできるスポーツではありません。周りの人たちのサポートのおかげで試合に出場することができます。ここまで支えてくれた人に恩返しができるように、感謝を忘れず馬術を楽しみたい」と、さらなる飛躍を誓う優香さん。

### 馬が人と人をつなぐ

3年後の茨城国体、その翌年の東京オリンピックと夢の舞台が続きます。「茨城国体は水戸農業高等学校が競技会場。ぜひ、母校での大会に出場したい。でも、まずは全国大会出場が直近の目標」と夢を膨らませます。

「これまで、馬が人と人をつないでくれました。やっぱり馬が好き。馬のいない生活は考えられません」と話す優香さん。これから厳しい障害があっても、馬とともに軽々と飛び越えてくれるでしょう。今後の活躍が楽しみです。

## 図書館のオススメ

### 【一般書】

#### ○空に牡丹

大島 真寿美 著

せっかく生まれたんだもの、生きているうち、奇麗なものをたくさん見たいよなあー。時は明治。花火に心を奪われた男の生涯を描く。『きらら』連載を単行本化。

出版社…小学館

分類…Fオ



### 【絵本】

#### ○ぬいぐるみのミュー

いもと ようこ 作  
ソフトクリームに見とれていた、ぬいぐるみのミューは、まみちゃんの腕からすると落ちてしまい……。いもとようこが、読者から寄せられた手紙をもとに描く。「たいせつなもの」を思う気持ち、優しい心を育む絵本。

出版社…講談社

分類…Eイ

### 【児童書】

#### ○気をつけよう！

#### スマートフォン

小寺 信良 著

スマートフォンについてイラストや図表を用いて解説。子どもがスマートフォンの利用を始めるにあたって、知っておきたい用語や、サービスの仕組みを取り上げている。

出版社…汐文社

分類…694

つつみ公民館

#### ○まあいいか

大竹 しのぶ 著

いま伝えたい、あんなこと、こんなこと……。どんなときも前向きに、優しさと温かさに満ちた大竹しのぶのエッセイ集。『朝日新聞』夕刊連載にリリー・フランキーとの対談を加えて単行本化。

出版社…朝日新聞出版

分類…772オ



## 注目企業人

～市内の企業を元気に支えるみんなを紹介～  
「支えてくれた人に日々感謝しながら」

株式会社影山倉庫 渡邊 義隆 さん

食品や工業製品などを管理・出荷する会社に入って3年目の渡邊さんは、福島県浪江町の出身。平成23年3月、東日本大震災で被災して古河市に避難したことがきっかけで、今の会社に就職しました。

担当は主にお菓子の仕分けや出庫。ビスケットなど碎けやすい商品が多いため、トラックへの積み込みには細心の注意が必要です。「運搬中の荷崩れや段ボールの汚れは厳禁。強風や大雨のときは、いつも以上に気を使います」と話します。

工場で作られた商品が店頭と並ぶまでの中継地として、品質管理の大切さを痛感しながらも「自分が扱った商品をお客様が買うのを見ると感慨深い。今後は他の商品も担当したい」と意欲をにじませています。

古河市に来て約5年になる渡邊さん。「突然家を失い、家族と離ればなれになってとても不安でした」と当時を振り返ります。一緒に避難してきた友人とは現在も連絡を取り励まし合っていますが「着の身着のままの私を温かく受け入れてくれた古河市の皆さんに感謝しています」と話してくれました。「田畑が多いところが浪江町に似ています。今では古河市も私のふるさどです」と話す明るい笑顔が印象的でした。

### ■プロフィール

休日は、ご当地グルメを食べに行ったり、離れて暮らす家族に会いに行ったりしています。26歳・旭町在住。



# 古河文化見聞録

## 悪疫退散の願い

### ～昭和初期に復活する悪戸新田獅子舞～

古河公方足利氏に由来し、古河市指定文化財にもなっている悪戸新田獅子舞。雀神社の祭礼に登場します。

明治時代に中断されてからのち、昭和元年の疫病流行をきっかけに翌2(1927)年に復活したもの。いつもなんとは無しにそんな説明文を読み、曖昧な記憶をもとに、ほかの人にもそのような説明をしていたのですが、よくよく考えると、大正15(1926)年が12月25日に終わり、昭和元(1926)年は26日に始まって31日まで。そういえば昭和元年が6日間であったことを忘れていました。

これは、この前後をもう一度見直してみる必要もあろうと、当時の新聞を読み返してみました。

#### 大正15年(昭和元年)の世相

まずは、悪疫流行のあったとされる大正15年(昭和元年)。この年は近年まれに見る日照りの年であったようで、5月には「田の中が丸でコンクリート」といわれ、旧新郷村・勝鹿村・岡郷村の田はコンクリートのように固まってしまったようです。水不足に困ったあげく、近隣の町の銭湯では、風呂の湯を節約するために混浴にしまい、警察から大目玉をくらったとも。こんなときには、これを救う霊験あらたかなものも登場し、ある寺院では寺宝「龍の尾」なるものの蓋を開いて、たちまち雨が……。降り過ぎて床下浸水の家もあったほどだと。

そんななか疫病はどうかというと、町をあげて種痘の励行、腸チフスの予防注射、ペスト対策のネズミ取りを行っていたためか、大

きな流行を見せることはなかったようです。とはいっても、古河町においては5月に赤痢で6歳の少女が死亡するといった悲しい出来事もありました。また、7月～9月に7名のチフス患者を出し、うち1名が亡くなっています。

#### 獅子舞復活の昭和2年

ところで、獅子舞復活の年にあたる昭和2年ですが、なにやら年の初めから不穏な空気が漂っていました。

1月には、深夜にガタガタと障子が震動する家がある、妖怪が住んでいるんじゃないだろうかという噂。調べてみるとそれは汽車の震動であったと。騒ぎがおさまると、町のなかに夜な夜な火柱が現れる。これはよく見ると、犬が集まって天に向かって遠吠えをしていたのだと。そうかと思うと竹藪から白い化け物が……。これは売出しのビラ。「化物の正体見たり枯をばな」(横井也右)のはずなのに、気持ちちが怪しい世界へ入ってしまっている。

そして3月に入ると、あちこちの辻にボタ



▲渡良瀬川堤防前での獅子舞奉納(昭和6年)





▲悪戸新田獅子舞(古河市指定文化財)

モチが<sup>そな</sup>えられている光景。どこかの寺の<sup>かね</sup>鐘が落下したという噂があり、この話を聞いたものは、必ずボタモチを辻に<sup>な</sup>供えないと一家災難、あるいは子供が病気に襲われるというのである。このようにひとびとは神仏に頼らざるを得ないほど、不安な日々を送っていました。

そんな不安が大きく爆発したのは6月1日に始まるチフスの大流行でした。4月から伝染病予防のポスター、映画、講演会、予防接種の励行など、病に対して警戒していた当時の古河町でしたが、このチフスは多くの人を悩ました。

### 凄惨なチフス流行と神仏への祈願

当時のある町会議員は、新聞のインタビューに次のように語っています。「どうも<sup>こま</sup>困った<sup>とし</sup>歳が来たものだ、なにしろ毎日数人づゝの患者がふえて行くのだからたまらない」と。最初の診断から2週間後には、「未曾有と云はるゝチフス流行」と称され、当時保健衛生を所管していた古河署は、7月末まで、管内に120名あまりの患者、そして20名の死亡者があったことを発表しているのです。

こうしたチフス流行に際して、ひとびとの反応はといえば神仏への祈願でした。たとえば、<sup>こうぼうだいし</sup>弘法大師を21日参拝すれば未然に防ぐことができるとか、東向きの観音を7堂お詣りすれば悪疫にかからないというところもあり、そうかと思うと八幡神社でお<sup>ひやくとまい</sup>百度詣りがよいなどというところ、いやいや天満宮だと

いうところも。そうしたなかで、本来、悪疫退散ではじまったとされる悪戸新田獅子舞が雀神社の祭礼に復活しました。25年間休止していたその期待感は想像以上のものがあり、当時の新聞記事によれば、「二十六年目で復活する『ドンドコレーロレーロレ』のお獅子舞<sup>ししまい</sup>の前人気は大変なものだ」と前評判の高さを記している。

折からの不安な毎日、そこに疫病の発生。神仏に頼る者は少なくなく、昭和2年は、どうしてもこれを打開せずにはおられない状況があったのです。悪戸新田獅子舞復活の直接的な契機<sup>けいき</sup>は、もしかしたら、この年のチフス大流行だったのかもしれない。

あらためて調べて見たわたくしですが、近頃記憶が曖昧となる症状がよくあります。これなども、獅子舞や神仏への祈願で<sup>ちか</sup>払拭できれば幸いなのですが。なによりもこれは悪疫ではないですな。もっとも、願ったところでそんなわがまま、神仏でも聞いてはくれませんな。

古河歴史博物館学芸員 立石尚之



▲雀神社の祭礼(昭和31年)

# 健康百科

高齢者の皆さんへ  
心のお手入れを忘れていませんか？  
～弱ったココロをほぐしましょう～

## うつ病に 気をつけましょう

高齢期に近づくと、体力の衰えや病気などで思うように日常生活が送れないことがあります。また、身内や親しい人の死に直面したり、定年などで社会との接点が少なくなったりして喪失感や疎外感を感じるなど、さまざまな要因が重なり、うつ病に陥る高齢者が増えています。

また、認知症と間違われやすいこともあり、気づかないまま悪化させてしまいがちです。高齢者のうつ病の原因と特徴を知っておきましょう。

## 高齢者のうつ病の特徴

### 【一般的なうつ病】

- ・気分が落ち込む
  - ・自信がなくなる
  - ・疲れがとれない
  - ・眠れない など
- 精神面での症状が強く現れます。

### 【高齢者のうつ病】

- ・頭痛
  - ・肩こり
  - ・便秘
  - ・めまい
  - ・動悸 など
- 身体的な症状を訴えます。精神面では、悲観的になるなどの症状が少ないかわりに、イライラしたり怒りっぽくなったりする症状が現れます。

## うつ病を予防するには

- ①積極的に外出しましょう  
用事を作って外に出掛けることが大切です。
- ②地域の活動に参加しましょう
- ③趣味を楽しみましょう  
何でも構いません。心から楽しいと思える趣味を探してみましょう。
- ④生活リズムを整えましょう  
起床・就寝時間を決め、1日3食しっかり食べましょう。
- ⑤できることは自分でしましょう
- ⑥運動習慣を身につけましょう  
少しの時間でも毎日体を動かすことを心掛けましょう。
- ⑦毎日の生活に「笑い」を取り入れましょう  
笑いは心をリラックスし、免疫力を高める効果があります。

## あなたは大丈夫？ うつ病をチェック しましょう

ここ2週間続いているものに○をつけてください。

1. 毎日の生活に充実感が無い
2. 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じる
3. わけもなく疲れたような感じがする
4. これまで楽しくできていたことが楽しめない
5. 自分は役に立つ人間だと思えない

1～5の項目のうち2つ以上当てはまる場合は、注意が必要です。

気になることがある場合は、かかりつけ医や地域の相談窓口等に相談してみましょう。

高齢福祉課



## 脳トレに挑戦!



【問1】下の文字の中に隠れている5つの野菜を探しましょう。

ま ね れ は  
そ さ ん と う  
と ほ た く  
い う れ ぎ  
す

【問2】下の文字の中に隠れている5つの色を探しましょう。

ど き む あ  
ら ろ お り み  
か く あ さ

※一度使った文字は使えません。  
※答えは19ページ(下)にあります。

# 穏いのパークの魅力

～春よこい♪～



◀ 八重桜のトンネル

春浅く、吐く息も白いこの時期ですが、日差しの明るさに少しずつ春の気配を感じるようになってきました。園内では、ロウバイからウメの花が咲く季節へと移り変わり、ツバキの蕾も次第に膨らんでいます。

自然豊かなネーブルパークには30種類以上の樹木がありますが、その半数は花を鑑賞できる花木です。その花木が公園をもっとも華やかにする季節が、すぐそこまで来ています。

3月に入ると咲き出すのがツバキやハクモクレンの花。そして待ちに待った「サクラ」の季節。3月下旬には園内のソメイヨシノが一斉に咲き出し、4月初旬まで咲き誇ります。その後は花期の長い八重桜が4月下旬まで園内の隅々を華やかに彩ります。

3月26日～4月3日(予定)には第3回を迎える『さくらまつり』が開催され、盛期のに

ぎやかさを徐々に取り戻していきます。

また市内では、合併10周年を記念して「古河公方公園」と愛称が付けられた古河総合公園でも、『第40回古河桃まつり』(3月20日～4月5日)が開催されます。

古河公方公園の有名なハナモモに負けないように、ネーブルパークでも「サクラが楽しめる公園」を目指して、現在、サクラの植樹に取り組んでいます。特に八重桜はここ数年、毎年50本以上を植えており、約500本だった公園のサクラは徐々に数を増やし続けています。

立春を迎え花の蕾もほころぶこの季節、冷たい空気を頬に感じながら、かすかに交じる春の気配を探しに、ネーブルパークへ出掛けてみませんか。

【問】ネーブルパーク管理事務所 ☎92-7300

## 表紙写真



1月10日、古河はなもも体育館で開催された「成人式典」。華やかな振り袖や背広に身を包んだ新成人が、晴れやかな表情で大人への一步を踏み出しました。

新成人の未来を祝福するかのよう澄み切った青空が広がり、絶好の撮影日和。緊張しながらも、さわやかな笑顔でカメラに向けてくれました。

東日本大震災から間もなく5年。中学校卒業と震災の記憶が重なる新成人からは「仲間との絆を大切にしたい」「常に感謝の気持ちを忘れずにいたい」などの声を聞くことができました。今しなければならぬこと、今しかできないこと、「今」を無駄にせず未来に向かって歩んでください。

撮影に協力してくれた新成人の皆さん。ありがとうございました。

### 古河市データ

#### 人口



(1月1日現在) 住民基本台帳から  
 総人口… 144,715人 (-61)  
 男……………72,811人 (-24)  
 女……………71,904人 (-37)  
 世帯数…58,897世帯 (-19)  
 ( ) 内は前月比

※18ページ「脳トレに挑戦！」の答え 【問1】はくさい、ほうれんそう、ねぎ、れたす、とまと  
 【問2】あか、あお、くろ、みどり、むらさき

# ★わが家のアイドル★



はちす ゆうき  
蜂須 結輝くん (1歳10カ月・大山)

2つ年上のお姉ちゃん「結愛」と遊ぶのが大好きな結輝。笑顔いっぱい元気遊ぶ様子に癒され、日々の成長に驚かされるパパとママです。これからも元気に成長してね♥ (父：優人 母：愛)

## 今月の料理

いかとブロッコリーのマヨしょうゆ炒め  
＜高血圧予防食＞



- ①イカ1杯(200g)は内臓を取り除き、胴は7～8mm幅の輪切り、足は長さを半分にして食べやすい大きさに切り分ける。
- ②ブロッコリー1/2個(100g)は小房に分ける。
- ③フライパンにサラダ油大さじ1/2を熱し、②を入れて1分ほど炒め、酒大さじ1を振り、ブロッコリーの緑色が鮮やかになったら①を加える。イカが白っぽくなってきたら、しょうゆ大さじ1/2とマヨネーズ大さじ2を加えて絡め、火を止める。 <4人分>

〈1人分〉  
エネルギー=114kcal  
タンパク質=10.4g  
脂質=6.75g  
カルシウム=18mg  
食塩相当量=0.8g



(食生活改善推進協議会)

●今年度から市内幼稚園・保育園等が交替でこのコーナーを担当しています。



## 子育てアドバイス



### 言葉の習得

最近よく耳にするのは、言葉がなかなか出ない子どもが多いということ。「1歳半を過ぎても『あつ』しか言わないのですが、どうしてでしょうか?」という電話相談もあります。

近年、携帯電話等の活用が盛んになり、さまざまな育児情報が飛び交い、迷うことが多くなっています。また、家族で会話する時間が非常に少なくなり、子どもたちの言葉力の低迷を感じます。

1歳前後の子どもは、特定の状況や対象物に対して、「ワンワン」など言葉で反応し始めます。発見した物、知りたい物を指さし、大人に認めてもらって物の名前を教えるもらおうといった、コミュニケーションの手段として大切な意味があります。散歩で出会った花やアリ、そして動物に興味を惹かれて、さわってみたり、そっと近づいてみたり、

子どもにとっては、すべてが発見であり、体験となつて自身の中に根付き始めます。目で捉えた物を「あつあつ」と指さし、大人に言葉に換えてもらうことで、物と言葉が一致し、確かなものとなつて子どもの心の中に位置づけられていきます。

絵本を読んでいるときも、聞いたことのある言葉に出会うと、耳を澄まして聞き、知っているものが出てくると指をさして大人の顔を見たりします。「○○ね」と言葉にして受け止めてあげると、言葉への関心がさらに高まります。

子どもたちの生活の中にイメージする楽しさのきっかけを作り、「指さし」や「まねっこ」を大切に受け止めてあげましょう。

こばと保育園

平成28年2月1日発行  
●発行所/〒306-0291 茨城県古河市下大野224-8 古河市役所 ☎0280(92)3111  
●編集/秘書広報課 ●ホームページ/ <http://www.city.haraki.koga.jp/>